

週間火山概況（平成 23 年 9 月 16 日～ 9 月 22 日）

【火山現象に関する警報及び予報の発表状況】

いずれの火山についても、噴火に関する予報警報事項（警戒すべき事柄）に変更はない。

表 1 火山現象に関する警報及び予報の発表履歴（9 月 16 日～ 9 月 22 日）

発表日時	火山名	警報・予報	概 要
毎日 07 時、17 時	三宅島	火山ガス予報	島内の火山ガスの分布予想

表 2 9 月 22 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福岡ノ場
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ケ岳、岩手山、秋田駒ケ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	上記以外の活火山



図 1 噴火警報発表中の火山（9 月 22 日現在）

【警報発表中の火山の活動状況及び警報事項】

みやけじま

三宅島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

噴煙の状況は、悪天候のため確認できない期間が多かったが、火口縁上200～400mで経過した。

火山性地震は、少ない状態で経過した。

23日（期間外）頃から連続微動の振幅が二十分間程度の間隔で間欠的に増大する現象が発生し、26日13時現在継続している。このような現象は、2001年以降夏期に多くみられている。なお、微動の振幅の増大に際して、その他の観測データに特段の変化はなかった。

三宅村によると、山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要である。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性がある予想される地域では、火山ガスに対する警戒が必要である。

いおうとう

硫黄島【火口周辺警報（火口周辺危険）】

地震活動は、2011年2月末頃から高い状態が続いている。

国土地理院のGPSによる地殻変動観測では、2006年8月に始まった島全体の隆起を示す地殻変動は、2010年11月中旬頃から12月にかけて一時鈍化した。2011年1月末頃から隆起速度が増加し、現在も続いている。また、島の南部で大きな南向きの変動がみられる。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、これまで小規模な噴火が発生した島東部の海岸付近、島西部（井戸ヶ浜等）及び南東沖（翁浜沖）では噴火に対する警戒が必要である。

ふくとくおか の ば

福德岡ノ場【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による上空からの観測は行われなかった。これらの機関のこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されており、今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要である。

きりしまやま しんもろだけ

霧島山（新燃岳）【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

新燃岳では、7日の噴火以降、噴火の発生はない。

火山性地震は、増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。振幅のごく小さな火山性微動が18日に2回発生した。

傾斜計¹⁾では、火山活動に伴う特段の変化は認められなかった。

22日に航空自衛隊航空救難団新田原救難隊の協力を得て実施した上空からの調査では、火口内に蓄積された溶岩の縁辺部から中央部にかけてわずかに低くなっているのが確認できたが、大きな変化はなかった。

国土地理院のGPSによる地殻変動観測では、新燃岳の北西側を中心に2月1日以降伸びの傾向がみられている。

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、大きな噴石²⁾に警戒が必要である。風下側では降灰及び遠方でも小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）に注意が必要である。これまでの噴火では、風に流されて直径4cm程度の小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）が新燃岳火口から10kmを超えて降っている。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要である。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要である。

さくらじま

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

昭和火口では、爆発的噴火が27回発生し、大きな噴石²⁾が5合目（昭和火口より500～800m）まで達した。また、同火口では夜間に高感度カメラ⁴⁾で確認できる程度の微弱な火映を21日に、明瞭に見える火映を22日に観測した。

南岳山頂火口では、噴火は発生しなかった。

火山性地震は少ない状態で経過し、噴火に伴う火山性微動が時々発生した。

国土地理院のGPSによる地殻変動観測では、^{あいら}始良カルデラ（鹿児島湾奥部）深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられているが、一部の観測データではこの夏頃から伸びが鈍化している。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、大きな噴石²⁾ 及び火砕流に警戒が必要である。風下側では降灰及び遠方でも小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）に注意が必要である。降雨時には土石流に注意が必要である。

^{さつまいおうじま}**薩摩硫黄島**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

火山性地震は、少ない状態で経過した。硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、やや高い状態が続いている。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要である。風下側では降灰及び遠方でも小さな噴石²⁾ に注意が必要である。

^{すわのせじま}**諏訪之瀬島**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

^{あたけ}御岳火口では今期間噴火は観測されなかったが、長期にわたり噴火を繰り返している。

火山性地震及び火山性微動は、少ない状態で経過した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では大きな噴石²⁾ に警戒が必要である。風下側では降灰及び遠方でも小さな噴石²⁾ に注意が必要である。

【噴火予報発表中の火山の活動状況及び予報事項】

^{いずとうぶかざんぐん}**伊豆東部火山群**【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

18 日夜から、伊豆東部の伊東市新井から伊東市汐吹崎沖を震源とする地震活動が始まり、19 日以降、地震活動は低下しながら継続している。18 日夜からの地震活動に先行して、東伊豆町に設置している体積ひずみ計⁵⁾ で縮みの変化が、また伊東市に設置している傾斜計¹⁾ でも変化が認められ、19 日頃まで継続したが、地震活動の低下とともにその変化も鈍化している。その後、台風第 15 号の降水等の影響によると考えられる変動がみられる。

これらの地震活動や地殻変動は地下深くのマグマの活動によるものと考えられるが、火山性微動や浅部低周波地震等、噴火に結びつくような現象は観測されていない。

また、22 日未明には、伊東市宇佐美付近のやや浅い場所を震源とする地震が一時的に増加したが、この地震活動は地下深くのマグマの活動と直接関係はないと考えられる。

伊豆東部での地震活動は、今回の活動より活発だった 2011 年 7 月 16 日から 19 日にかけての地震活動以来である。

^{あそざん}**阿蘇山**【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

15 日（期間外）に火山性微動が発生し、この微動の発生に伴い、湯だまり表面に濁りが確認された。16 日にも振幅の小さな微動が 19 時頃まで時々発生したが、湯だまり表面の濁り等は確認されていない。17 日以降微動は発生せず、地震・微動及び噴煙等の火山活動に特段の変化はみられない。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、火口内では土砂や火山灰を噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要である。

上記以外の火山では、期間中、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。

2) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。

3) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

4) 九州地方整備局大隅河川国道事務所が黒神河原上流に設置したカメラ等による。

5) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等で変化が観測されることがある。

注) データについては精査により、後日修正することがある。

【参考】 噴火警報及び噴火予報と噴火警戒レベル等の対応表

噴火警戒レベル導入火山		噴火警戒レベル未導入火山
噴火警戒レベル（キーワード）	警報・予報	警戒事項等（キーワード）
レベル5（避難）	噴火警報	居住地域厳重警戒 または山麓厳重警戒*
レベル4（避難準備）		入山危険
レベル3（入山規制）	火口周辺警報	火口周辺危険
レベル2（火口周辺規制）		平常
レベル1（平常）	噴火予報	

*居住地域が不明確な場合

海底火山については、噴火警報（キーワード：周辺海域警戒）と噴火予報（キーワード：平常）で発表する。